

平成 29 年度委員評価 結果

下記 10 項目を、職員が自己評価を行い（平成 29 年 8 月）、その後、委員の方より、点検し評価をしていただいた（平成 30 年 1 月）。

評価については、適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1 不明・・・0 とし、平均数値を算出。（不明は、別途個数を確認）

（１）．教育理念・目標

評価項目	自己評価 平均	委員評価 平均
① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	3.6	3.8
② 上記の元、特色のある職業教育が行われているか	3.3	3.4
③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.0	3.0
④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.2	3.2
⑤ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.1	3.0

<今後について>

- ・情報を整備し、さらに分かりやすく「理念、目的、育成人材像、特色」を知っていただけるよう、パンフレット、ホームページ上の改善に努める。

- ・教育目標、育成人材像については、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等の意見をしっかりお聞きし、変化する業界のニーズに方向をあわせていけるよう、改善に努める。

（２）．学校運営

評価項目	自己評価 平均	委員評価 平均
① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.2	3.8
② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2.9	3.2
③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2.6	3.0
④ 給与に関する規程等は整備されているか	2.9	3.5
⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2.8	3.3

⑥ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス※体制が整備されているか	2.9	3.3
⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2.7	3.0
⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.7	3.0

<今後について>

・情報システム化については、少しずつステップアップしている段階で、5年先、10年先を見据え、計画的な情報システム化を進めていく。

(3) . 教育活動

評価項目	自己評価 平均	委員評価 平均
① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.2	3.8
② 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	2.8	3.2
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	2.8	3.3
④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.1	3.0
⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2.5	2.8
⑥ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.3	3.8
⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか	3.2	3.2
⑧ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.1	3.2
⑨ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.2	3.0
⑩ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.0	3.6
⑪ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	2.9	3.8
⑫ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	3.1	3.4
⑬ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.8	3.3

<今後について>

- ・所属部署に関連した研修会だけではなく、勤続年数に応じた研修の機会を設ける。
- ・関連業界との連携強化に努め、各職員の更なるステップアップ、キャリアアップを図る。

(4) . 学修成果

評価項目	自己評価 平均	委員評価 平均
① 就職率の向上が図られているか	3.5	4.0
③ 資格取得率の向上が図られているか	3.5	4.0
③ 退学率の低減が図られているか	3.1	3.5
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.4	3.4
⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	2.7	2.6

<今後について>

- ・「卒業生同窓会」などの構築を検討し、卒業生とのネットワーク強化に努める。
- ・卒業後のキャリア形成の効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用していく。

(5) . 学生支援

評価項目	自己評価 平均	委員評価 平均
① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.4	4.0
② 学生相談に関する体制は整備されているか	3.2	4.0
③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2.8	3.2
④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.8	2.8
⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.8	2.4
⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか	2.8	3.0
⑦ 保護者と適切に連携しているか	2.8	2.6
⑧ 卒業生への支援体制はあるか	2.9	2.5
⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.9	2.8
⑩ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2.9	3.3

<今後の改善方策>

- ・更なる支援体制の確立、社会人のニーズを踏まえた教育環境の立案、卒業生の支援体制の明確化に努める。

(6) . 教育環境

評価項目	自己評価 平均	委員評価 平均
① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.2	3.0
② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.3	3.6
③ 防災に対する体制は整備されているか	3.2	3.8

<今後について>

・海外への留学を考える学生も増えていることから、海外研修への体制を構築していく。(海外校との提携、留学へのバックアップなど)

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目	自己評価 平均	委員評価 平均
① 学生募集活動は、適正に行われているか	3.2	3.8
② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.3	3.6
③ 学納金は妥当なものとなっているか	3.1	3.4

<今後について>

・教育成果をうまく伝えるためのパンフレット、ホームページなどの作成や新しい広報手段（SNSを使った広報活動など）の活用に取り組む。(卒業生などの情報も教育成果として伝えていく)
・海外からの留学者の入学も視野に入れ募集活動を行う。

(8) . 財務

評価項目	自己評価 平均	委員評価 平均
① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	1.9	2.0
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	1.9	2.0
③ 財務について会計監査が適正に行われているか	2.6	2.5
④ 財務情報公開の体制整備はできているか	1.8	2.0

<今後について>

・予算及び決算について、職員への説明の機会を設け、職員全体の節約の意識などを高めていく。
・監査、理事会の承認後のタイミングでしっかりと財務情報の公開を行っていく。

(9) . 法令等の遵守

評価項目	自己評価 平均	委員評価 平均
① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	2.6	2.7
② 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.2	3.3
③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2.4	2.7

<今後について>

- ・今回実施の自己評価をもとに、問題点の改善に担当者を決めて取り組む。

(10) . 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価 平均	委員評価 平均
① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.5	3.8
② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.8	3.8
③ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3.5	4.0

<今後について>

- ・学生のボランティア活動が決まった学生に偏ることもあるので、定期的に社会貢献活動の重要性などを伝え、より多くの学生に参加してもらえるよう指導を行うようにする。